

平成 29 年 9 月 1 日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

ガストーチ、電気こんろ、電気冷蔵庫に関する事故（リコール対象製品）について
（詳細は次頁以降参照。）

- | | |
|---|-----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故
（うちガストーチ 1 件） | 1 件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故
（うち電気こんろ 1 件、熱交換気冷暖房ユニット 1 件、
デスクトップパソコン 1 件、電気冷蔵庫 1 件） | 4 件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故
（うち延長コード 1 件、水槽用ウォータークーラー 1 件、
踏み台（アルミニウム合金製） 1 件、車いす 1 件、
介護ベッド用手すり 1 件、液晶テレビ 1 件） | 6 件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）
において、審議を予定している案件
該当案件なし | |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社旭製作所が輸入し、岩谷産業株式会社が販売したガストーチについて (管理番号：A201700316)

① 事故事象について

株式会社旭製作所（法人番号：5030001017688）が輸入し、岩谷産業株式会社が販売したガストーチを点火したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、ボンベ接続部の取付けビスの締付け不足により接続部に隙間ができ、ガス漏れが発生し、火災に至ったと考えられます。

② 再発防止策について

販売事業者である岩谷産業株式会社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2014年（平成26年）12月11日からウェブサイトへの情報掲載及び新聞社告を行い、対象製品について無償製品交換を実施しています。

③ 対象製品：商品名、品番、ロット番号、販売期間、対象台数

商品名	品番	ロット番号	販売期間	対象台数
トーチバーナー （イワタニお料理 バーナープロⅢ）	CB-TC-CPR03	131111	2013年12月 ～	35,368
		131211		
		140221	2014年12月	
		140702		

2014年（平成26年）12月11日からリコール（無償製品交換）を実施
回収率：51.5%（2017年8月15日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201700316）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（リコール開始の契機となった事故を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2017年度	1	火災	2013年度	0	—
2016年度	0	—	2012年度	—	—
2015年度	4 1	火災 火災・軽傷	2011年度	—	—
2014年度	3	火災	2010年度	—	—

<対象製品の外観及び確認方法>

品番	CB-TC-CPRO3
対象ロット番号	131111・131211 140221・140702
つまみの色	薄紫



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償製品交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

岩谷産業株式会社

イワタニお料理バーナー相談室

電話番号：0120-60-1598

受付時間：9時～18時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：http://www.iwatani.co.jp/jpn/top_info/detail.php?idx=28

(2) 富士工業株式会社が製造し、サンウェーブ工業株式会社（現 株式会社LIXIL）が販売した電気こんろについて（管理番号：A201700309）

※組み込み先のキッチンメーカーは不明

①事件事象について

富士工業株式会社（法人番号：8021001013733）が製造し、サンウェーブ工業株式会社（現 株式会社LIXIL）が販売した電気こんろ及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物などが燃えたものと考えられます。

②再発防止策について

ミニキッチン等に組み込まれた電気こんろで、スイッチ部のつまみが飛び出ている形状のものについては、身体や荷物が知らないうちにつまみに触れ、スイッチが入ってしまい、火災に至る事故が相次いで発生しています。

このため、同社を含む電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー13社により「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」が設立され、2007年（平成19年）7月3日から新聞社告及び新聞折り込みチラシの配布を行うとともに、各地の消防局に協力要請を行う等、無償改修（スイッチ部のつまみにカバーを付ける）を実施しています（現在11社が継続実施。）。

③対象製品

対象製品の機種・型式及び各事業者名、問合せ先等は、別添のとおりです。

【リコール実施状況】

2007年（平成19年）7月3日からリコール（無償改修）を実施

改修対象台数、改修率

一口電気こんろ（今般事故の型式SBE-101-100Vを含む。）

改修対象台数 530, 401台（全社合計）

改修率 96.5%（2017年7月31日時点）

上面操作一口電気こんろ

改修対象台数 60, 969台（全社合計）

改修率 74.6%（2017年7月31日時点）

複数口電気こんろ

改修対象台数 147, 700台（全社合計）

改修率 70.0%（2017年7月31日時点）

＜リコール対象製品での事故件数＞

当該事故（管理番号：A201700309）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2017年度	0	—	2013年度	2	火災
2016年度	0	—	2012年度	0	—
2015年度	1	火災	2011年度	1	火災
2014年度	4	火災	2010年度	3	火災

＜対象製品の外観及び確認方法＞

スイッチ部のつまみを御確認ください。



（写真はSBE-101-100V）



改修前：カバー無し



改修後：カバー付き

- 「メーカー名」及び「品番」については、扉の内側やスイッチなどを御確認ください。
- 「品番」が表示されていない場合は、「メーカー名」又は「スイッチ部の形状」を御確認の上、下記問合せ先まで御連絡ください。
- 改修対象の電気こんろは、スイッチ部のつまみが飛び出ているタイプになります。

④使用者への注意喚起

電気こんろの上や周辺に可燃物を置くことを避けていただくとともに、電気こんろのスイッチ部のつまみにカバーのない製品をお使いで、まだ当該つまみにカバーを付ける改修を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

使用者の方々及び対象製品を設置するアパート等を所有又は管理されている方々におかれては、事業者が行う訪問改修に御協力いただくようお願いいたします。

【問合せ先】

富士工業株式会社

電話番号：0120-500-621

受付時間：9時～18時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：http://www.fjic.co.jp/recall/gas_k01.html

株式会社LIXIL

電話番号：0120-190-530

受付時間：9時～17時（土・日・祝日、年末年始、夏季休暇を除く。）

ウェブサイト：<http://sunwave.lixil.co.jp/info/11210/index.html>

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会

電話番号：0120-355-915

受付時間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.denki-konro.jp/>

（参考）

消費者庁では、2014年（平成26年）6月11日に「お持ちではありませんか？リコールが行われている台所用機器」として、リコールが行われている電気こんろ、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、IH調理器、電気ケトルで火災等が発生した14製品について、リコール対象機種・型式を提示し、発煙・発火のおそれがあるとして注意を呼び掛けています。

ウェブサイト：http://www.caa.go.jp/safety/pdf/140611kouhyou_1.pdf

火災事故防止に向けて 改修のお願い

1977年から2004年までに製造したキッチンユニット等でご使用の電気こんろを探しています

身体や物が接触し、意図せずスイッチが「入」となる可能性がある構造であったために、電気こんろの上や周囲に可燃物が置かれていて、火災事故に至る危険性があります。



一口こんろ(前面操作) ※写真は富士工業製



ブランド表示はHITACHIまたは、SUNWAVE
一口こんろ(上面操作)



複数口こんろ(前面操作のみ)

長期間使用されない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

対象製品 スイッチ部外観例



つまみが飛び出している電気こんろが対象です。

改修済み製品 スイッチ部外観例



周りにガードのあるつまみは改修済みです。引き続きご使用いただけます。

【対象製品】

形式	電気こんろメーカー(現社名)	電気こんろ品番
前面操作一口電気こんろ※1	サンウーブ工業	SBE-101-100V、SBE-101-200V、FHS-31A、FHS-31B
	東芝ライフスタイル <small>(旧東芝株式会社 東芝コンシューママーケティング株式会社)</small>	BHP-111、BHP-121
	パナソニック アプライアンス社 <small>(旧社名 松下電器産業株式会社)</small>	NK-1101、NK-1102、NK-2101、NK-2102
	日立アプライアンス	HT-1250、HT-1550、HT-1250T
	ハウステック <small>(旧社名 株式会社日立ハウステック)</small>	HK-1102、HK-2102、HT-1250C
	富士工業	FH-31A、FH-31B(品番表記がなく、100V、200Vのみを表示している製品もあります。)
上面操作一口電気こんろ※1	サンウーブ工業	CR-1201、CR-1201A、CR-1202、CR-1501、CR-1501A、CR-1501B
	日立アプライアンス	HT-1290、HT-1290T、HT-1500
複数口電気こんろ※2	サンウーブ工業	SBE-2G、SBE-3G、SBE-3T
	東芝ライフスタイル <small>(旧東芝株式会社 東芝コンシューママーケティング株式会社)</small>	HP-2000、HP-2000J、HP-2000T、HP-3000、UHP-S36A、UHP-S36AT、BHP-361T、BHP-365、BHP-461、BHP-461N、BHP-461W
	パナソニック アプライアンス社 <small>(旧社名 松下電器産業株式会社)</small>	NK-2220、NK-2251、NK-2252、NK-2306、HNT-2200 <small>(※3)</small> 、NK-2201、NK-2202、NK-2203、NK-2301、NK-2302、NK-2303、NK-2204、NK-2204CM、NK-2204M、NK-2305、NK-2307
	日立アプライアンス	HT-3000G、HT-3010G、HT-3310、HT-3510、HT-3511A、HT-4510、HT-D3451、HT-D4451、HT-D4451SS
	富士工業	FH-62、FH-621、FH-63、NSH-621、SBA-201、SBA-211、SBA-211A、SBA-301、SBA-311、SBA-311L

※1. 小形キッチンユニット(冷蔵庫付きタイプ・扉仕様タイプ等)にも組み込まれています ※2. 据置型・ビルトイン型があります ※3. ブランド名はHEC

上記電気こんろは、下記協議会加盟キッチンユニットメーカー他のキッチンまたはキッチンテーブル等に組み込まれている場合があります。

【小形キッチンユニット用電気こんろ協議会加盟キッチンユニットメーカー(五十音順)】

クリナップ株式会社、三協立山株式会社、タカラスタンダード株式会社、パナソニック株式会社 エコソリューションズ社

【小形キッチンユニット用電気こんろ協議会加盟会社名・お問い合わせ先(五十音順)】

誠に申し訳ありませんが電気こんろのスイッチを無償で改修いたしますので、下記フリーダイヤルへご連絡ください。

クリナップ株式会社 0120-126-174 http://cleanup.jp/	三協立山株式会社 0120-202-436 <small>(旧社名 三協立山アルミ株式会社)</small> http://www.st-grp.co.jp/	タカラスタンダード株式会社 0120-200-805 http://www.takara-standard.co.jp/
東芝ライフスタイル株式会社 0120-668-401 <small>(旧東芝株式会社 東芝コンシューママーケティング株式会社)</small> http://www.toshiba.co.jp/tha/	株式会社ハウステック 0120-524-852 <small>(旧社名 株式会社日立ハウステック)</small> http://www.housetec.co.jp/	パナソニック株式会社 アプライアンス社 0120-391-391 <small>(旧社名 松下電器産業株式会社)</small> http://panasonic.co.jp/
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 0120-116-484 <small>(旧社名 松下電工株式会社)</small> http://panasonic-denko.co.jp/	日立アプライアンス株式会社 0120-256-557 http://www.hitachi-ap.co.jp/	富士工業株式会社 0120-500-621 http://www.fjic.co.jp/
三菱電機株式会社 0120-099-506 http://www.mitsubishielectric.co.jp/	株式会社 LIXIL 0120-190-530 <small>(製造 サンウーブ工業株式会社)</small> http://www.sunwave.co.jp/	

フリーダイヤル受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

お客様からご提供いただきました氏名・住所・電話番号などの個人情報は、当該製品の点検と改修目的以外には使用いたしません。

小形キッチンユニット用電気こんろ協議会 0120-355-915 メールアドレス dkk.jimu@denki-konro.jp

<http://www.denki-konro.jp/>



総務省消防庁・東京消防庁・経済産業省の各ホームページにも掲載され、注意喚起並びに改修を促進しています。

総務省消防庁 <http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi1908/pdf/190824yo307.pdf>

東京消防庁 <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/lfe/topics/200910/kitchen.html>

経済産業省 http://www.meti.go.jp/product_safety/recall/file/chuui_kanki/denkikonro.htm

(3) シャープ株式会社が製造した電気冷蔵庫について（管理番号：A201700318）

①事象について

シャープ株式会社（法人番号：6120001005484）が製造した電気冷蔵庫の内部部品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー（起動用電気部品）内のPTC素子（電流を制御する部品）の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損したものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2012年（平成24年）4月16日にウェブサイトへ情報を掲載し、翌17日に新聞社告を行うとともに、販売店を通じて使用者にダイレクトメールの送付、注意喚起チラシを配布するなど、対象製品について無償点検及び部品交換を実施しています。

③対象製品：製品名、機種・型式、製造番号、製造期間、対象台数

製品名	機種・型式	製造番号	製造期間	対象台数		
電気 冷 蔵 庫	シャープ ブランド	全ての製造番号	1996年12月 ～ 2001年3月	SJ-350JB(-H)	15,600	
				SJ-E35KC(-H)	26,300	
				SJ-EX357(-H)	20,300	
				SJ-EX447(-H)	29,700	
				SJ-V35WB(-H)	3,400	
				SJ-V35WC(-H)	4,500	
				SJ-W358D(-G/-H)	6,500	
				SJ-W359D(-C/-H)	10,200	
				SJ-W35A(-G/-H)	73,380	
				SJ-W35B(-G/-H)	74,920	
				SJ-WA35C(-C/-H)	130,672	
				SJ-WE38A(-G/-H)	68,245	
				SJ-WE44A(-G/-H)	54,300	
				SJ-WH350(-C)	8,400	
				SJ-WH380(-C)	7,900	
				SJ-WJ440(-H)	4,300	
				SJ-WS350(-H)	1,700	
				SJ-E30B(-W)	10010001～10019910	80,600
				SJ-E30B(-C)	20010001～20059210	
	SJ-E30B(-H)	30010001～30031480				
無印良品 ブランド	SJ-R35C	全ての製造番号	SJ-23B(-H)	48,780		
			SJ-23D(-C/-R)	60,373		
			SJ-S407(-H)	5,500		
合 計				737,080		

※表中()内は色調コードです。

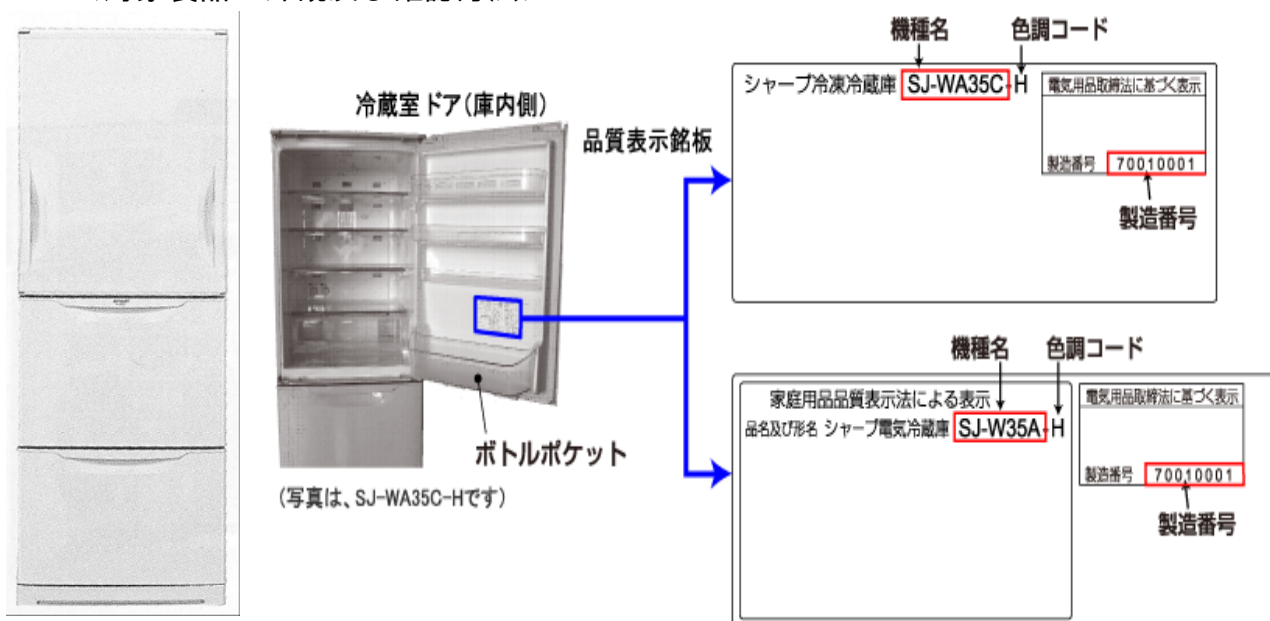
2012年（平成24年）4月16日からリコール（無償点検・部品交換）を実施
改修率：31.8%（2017年7月31日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201700318）発生以前の、当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2017年度	1	火災	2013年度	6	火災
2016年度	2	火災	2012年度	4	火災
2015年度	1	火災	2011年度	2	火災
2014年度	1	火災	2010年度	0	—

<対象製品の外観及び確認方法>



注) 冷蔵室ドア（庫内側）に、上図のいずれかの品質表示銘板が貼付されています。

④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検及び部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

シャープ株式会社

電話番号：0120-404-511

受付時間：9時～18時（月～土曜日）

9時～17時（日曜・祝日）

ウェブサイト：http://www.sharp.co.jp/support/announce/sj_info_120416.html

【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担 当：柳川、平野、清重

電 話：03-3507-9204（直通）

F A X：03-3507-9290

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担 当：橋爪、鈴木、植杉、高橋

電 話：03-3501-1707（直通）

F A X：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201700316	平成29年8月11日	平成29年8月30日	ガストーチ	CB-TC-CPRO3 (岩谷産業株式会社ブランド)	株式会社旭製作所 (岩谷産業株式会社ブランド) (輸入事業者)	火災	当該製品を点火したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、ボンベ接続部の取付けビスの締付け不足により、接続部に隙間ができ、ガス漏れが発生し、火災に至ったものと考えられる。	兵庫県	平成29年8月24日に消費者安全法の重大事故等として公表済 平成26年12月11日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率:51.5%

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201700309	平成29年2月21日	平成29年8月28日	電気こんろ	SBE-101-100V (組み込み先のキッチンメーカーは不明)(サンウェーブ工業株式会社)(現 株式会社LIXIL)ブランド)	富士工業株式会社 (サンウェーブ工業株式会社)(現 株式会社LIXIL)ブランド)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故の原因は、現在、調査中であるが、身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物などが燃えたものと考えられる。	東京都	製造から20年以上経過した製品 事業者が重大製品事故として認識したのは平成29年8月21日 平成19年7月3日から事業者が共同してリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:96.5%(一口電気こんろ合計)
A201700310	平成29年8月15日	平成29年8月29日	熱交換気冷暖房ユニット	BV-Z50DE1K3A	松下精工株式会社 (現 パナソニック エコシステムズ株式会社)	火災	当該製品を使用中、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	福島県	平成29年8月31日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201700314	平成29年7月31日	平成29年8月29日	デスクトップパソコン	GALLERIA SF (KTC01/H97ITX)	株式会社サード ウェブデジノス	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	石川県	平成29年8月24日に消費者安全法の重大事故等として公表済 事業者が重大製品事故として認識したのは平成29年8月22日
A201700318	平成29年8月19日	平成29年8月30日	電気冷蔵庫	SJ-WA35C	シャープ株式会社	火災	当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー(起動用電気部品)内のPTC素子(電流を制御する部品)の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損したものと考えられる。	兵庫県	平成29年8月31日に消費者安全法の重大事故等として公表済 平成24年4月16日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:31.8%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201700308	平成29年8月10日	平成29年8月28日	延長コード	火災	当該製品に複数の電気製品を接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	岩手県	
A201700311	平成29年8月17日	平成29年8月29日	水槽用ウォータークーラー	火災	飲食店で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201700312	平成29年7月21日	平成29年8月29日	踏み台(アルミニウム合金製)	重傷1名	当該製品を使用中、転倒し、胸部を負傷した。当該製品の支柱が破断しており、事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	愛知県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成29年8月18日
A201700313	平成29年8月13日	平成29年8月29日	車いす	死亡1名	使用者が当該製品に移乗した際、当該製品の肘掛けに衣類が引っ掛かり、首元が圧迫された状態で発見され、死亡が確認された。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	静岡県	
A201700315	平成29年8月5日	平成29年8月29日	介護ベッド用手すり	重傷1名	家族が昇降機能のある介護ベッドのスイッチを操作したところ、使用者(90歳代)の右腕が当該製品と介護ベッドのマットレスの隙間に挟まり、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	秋田県	
A201700317	平成29年8月10日	平成29年8月30日	液晶テレビ	火災 軽傷1名	異音が出たため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しており、1名が軽傷を負った。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件なし

熱交換気冷暖房ユニット（管理番号：A201700310）



デスクトップパソコン（管理番号：A201700314）

